

大阪の観光を取り巻く状況

業況判断DI (近畿)

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて企業の景況感（日銀短観 DI）は、2020年3月から6月にかけて急速に落ち込んだ。中でも、宿泊・飲食サービスの景況感が最も悪化した。
- 2020年6月以降は、改善と悪化を繰り返しながらも回復傾向にある。

業況判断DI (近畿地区)

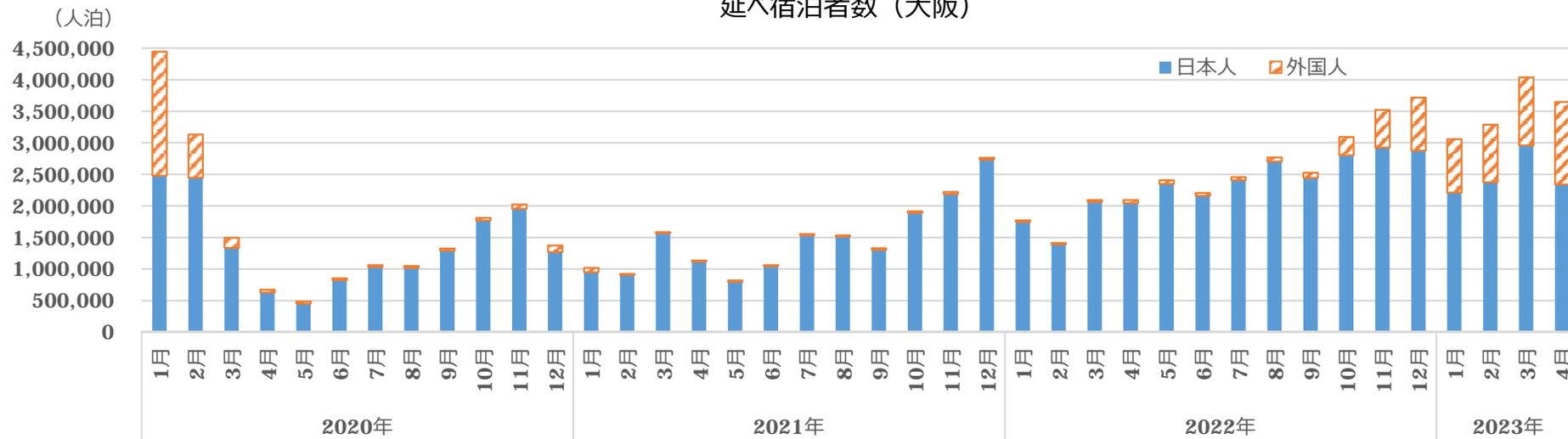


出典：日本銀行大阪支店「全国企業短期経済観測調査（近畿地区）」より作成
 ※2023年9月の数値は先行きDI

宿泊者数の状況（大阪）

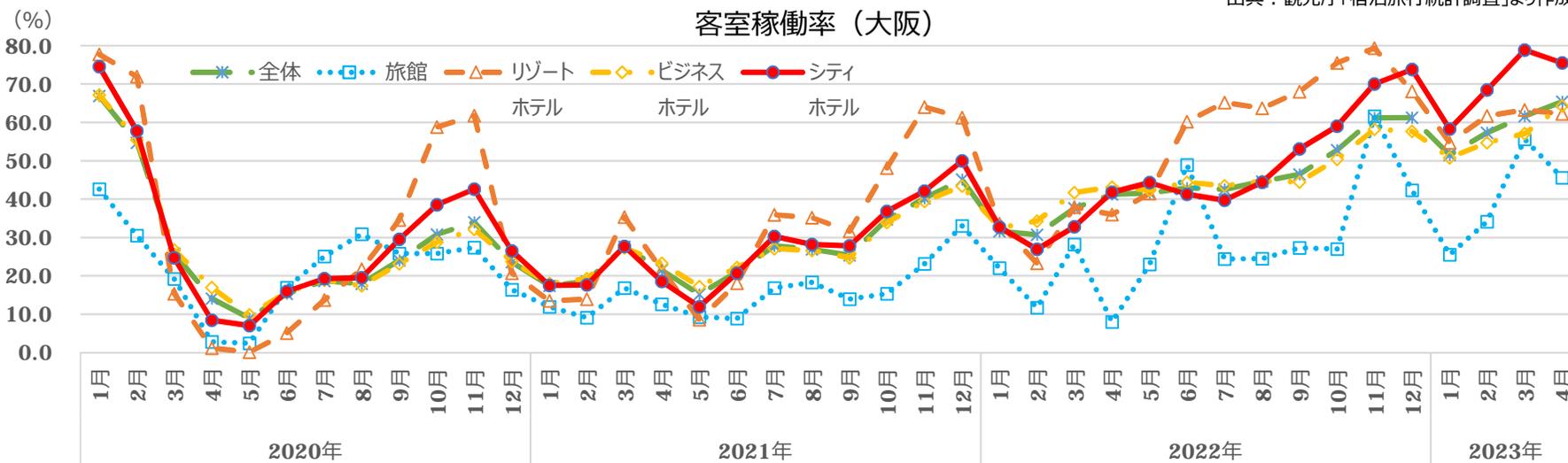
- 新型コロナウイルスの感染拡大により宿泊者数、客室稼働率は激減。
- 宿泊者数、客室稼働率とも、感染状況により増減を繰り返していたが、**2022年3月以降概ね緩やかな回復傾向**にある。

延べ宿泊者数（大阪）



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」より作成

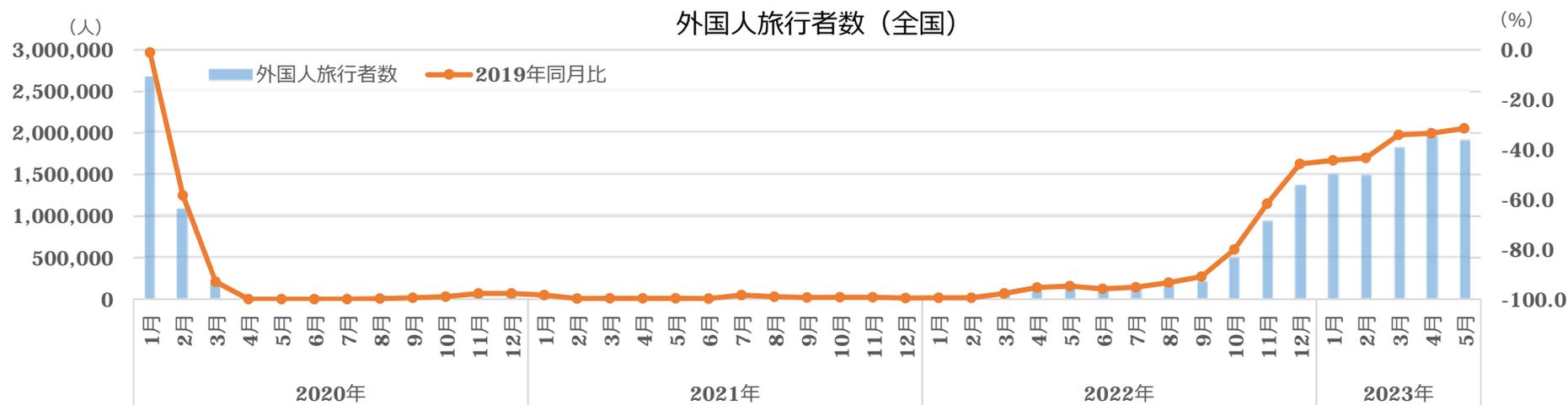
客室稼働率（大阪）



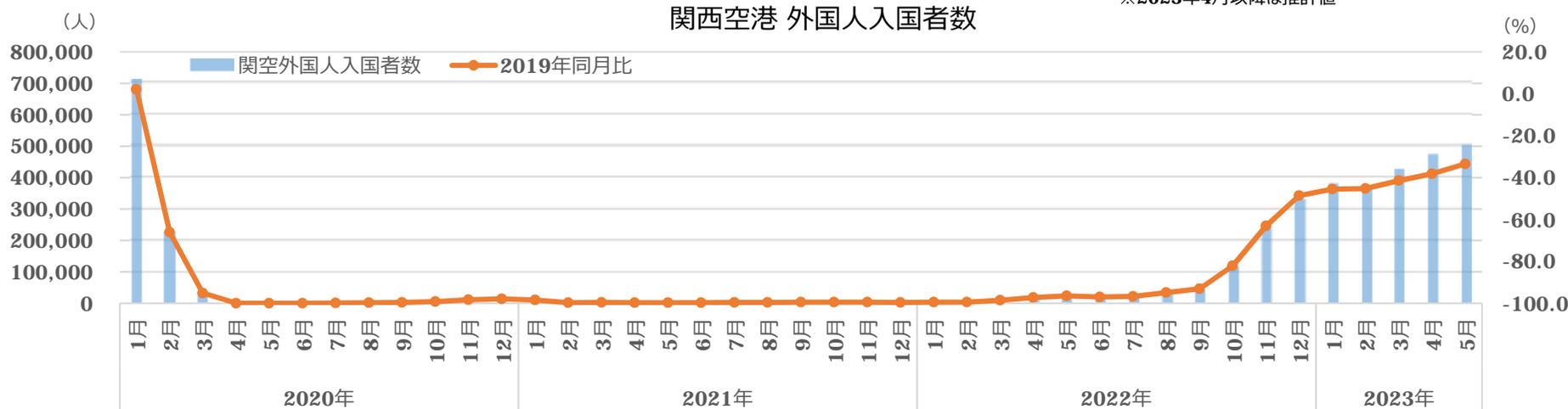
出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」より作成

インバウンドの状況（全国・関西空港）

- 外国人旅行者数及び関西空港外国人入国者数は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う入国規制の影響により激減。
- 国際的な移動の制約が続き、**2020年4月以降**、インバウンド需要がほぼ消失。
- 2022年6月**から外国人観光客の受入が一部再開され、**2022年10月**からは入国者総数上限が撤廃されたことから、外国人旅行者数及び関西空港外国人入国者数とともに改善傾向にある。



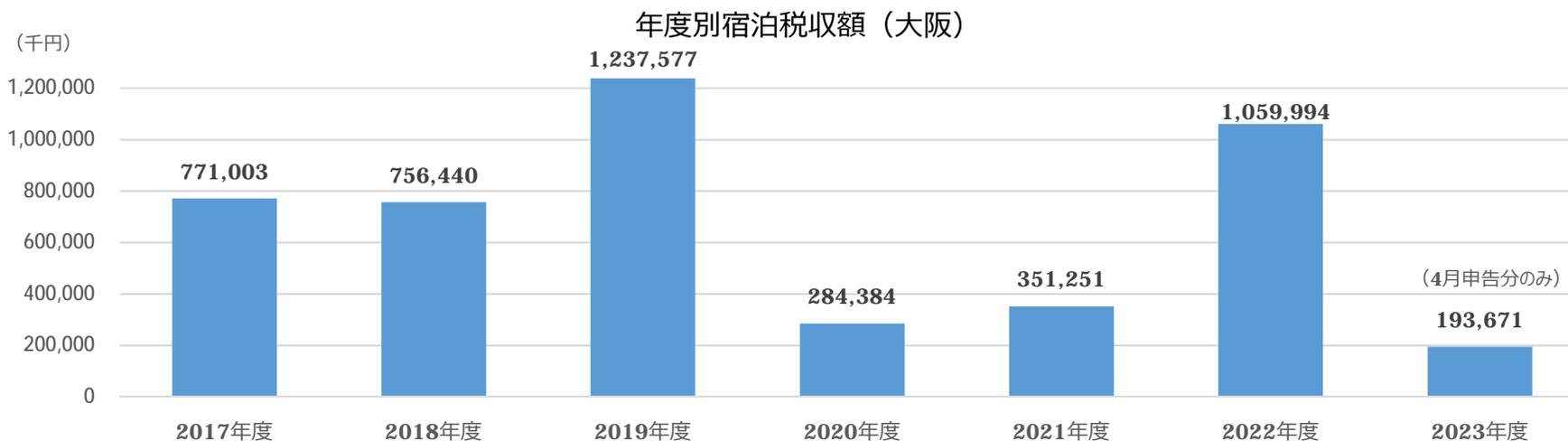
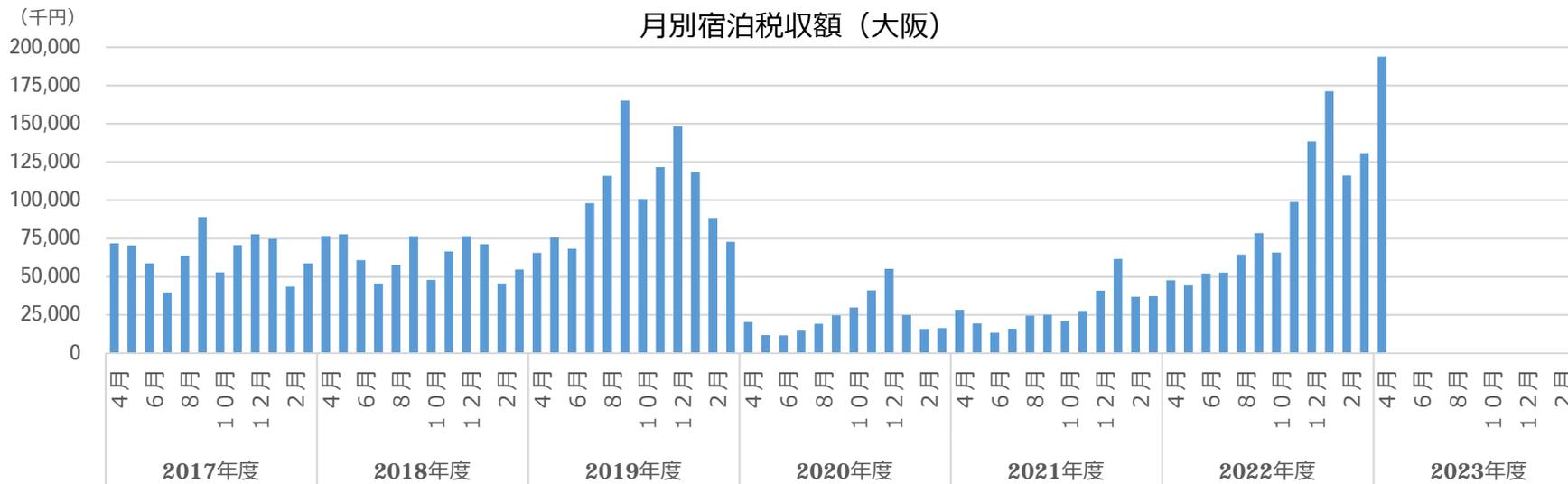
出典：日本政府観光局「訪日外客数」より作成
 ※2023年4月以降は推計値



出典：出入国在留管理庁「入国管理統計」より作成
 ※2023年4月以降は速報値

宿泊税収の状況（大阪）

- 免税点変更が行われた**2019年6月**（申請月ベースで**2019年7月**）を境に、宿泊税収は対前年度比で大幅に増加。
- 一方、新型コロナウイルス感染症の影響が生じ始めた**2020年3月**（申請月ベースで**2020年4月**）以降は激減。
- **2022年度**後半は、入国者数の上限撤廃や「いらっしやいキャンペーン」などにより、宿泊税収は堅調に推移している。



※2022年度以降は税収見込額